

Boone County Schools

ブーンカウンティスクール学区

2021-2022 学年度学校再開に関する手引書



教育長からのメッセージ

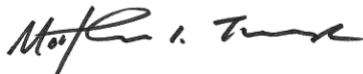
ブーンカウンティスクール学区のご家族の皆さま

ブーンカウンティスクール学区は、今年度生徒たちに毎日対面指導を提供することに全力で取り組んでおり、我々は着実にその目標を満たすために日々努力する姿勢でおります。マスクを着用するのは必ずしも簡単ではないことを理解しておりますが、私たちは生徒が毎日学校に通い、マーチングバンド、陸上競技、クラブなどの活動や組織に継続して参加させたいと望んでいます。私たちはこの学年度を通して共に働き、毎日の対面指導へのコミットメントを満たすために必要な事柄に着目して前進していきたいと考えます。

私たちはブーンカウンティスクールのすべてのステークホルダーにとって最も安全な経路を定めるために、地方および地域の新型コロナウイルスデータを念入りに監視し続けています。これらのデータおよび州知事事務所とケンタッキー州教育省から入手する情報は、学区内のおよそ 21,000 人の生徒と 3,700 人の学校スタッフ全員に安全な学習環境を提供するために利用されます。さらに、今学年度から他の学区の展開にも細心の注意を払い、陽性症例および隔離数増加の際に、より厳格な安全プロトコルを迅速に実施出来るよう配慮していく構えです。

生徒と従業員の安全を確保しつつ、日々の対面指導を継続するために、今後も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

敬具、



Matthew L. Turner

教育長

指導原則

- 生徒と学校スタッフの健康と安全を重んじ守ります。
- 指導の忠実度を維持し、すべての生徒に基準を教え習得出来るようにします。
- 全ての生徒の公平性とアクセスを確保します。
- 社会性と情動の学習と生徒と教育者の教育へのニーズをサポートします。
- 不健康な行動を低減し、感染の拡大を減らし、全ての人の健康を保護するために、州及び地区の保健当局からのガイドラインを常に遵守します。
- 指導形態で可能な限り個人の健康と選択を尊重する一方、人員配置やその他の決定事項の促進を図るために、予期せぬ健康上の懸念を除いては、それらの決定事項を指定期間以上継続するよう求めます。
- これまでに前例のない状況に対しての対応が必要となる可能性がある事を認識します。
- 全てのステークホルダーとの効果的なコミュニケーションを図ります。
- 財政支払い能力を維持しながら、全ての生徒のニーズを満たすために柔軟性を確保します。

ワクチン接種

私たちは、学校スタッフ、生徒、ご親族の全ての方々が新型コロナワクチン接種を受けることを推奨します。（この件に関しては、個人／家族の選択であることを理解し尊重しますが、ワクチン接種を受けた生徒／スタッフは、症状が出ない限り、隔離する必要がないことをご理解下さい。）

ソーシャルディスタンス／接触の低減

空間計画ソリューションは、ソーシャルディスタンスを通じた感染症疾患の伝染の低減に使用できます。現在のソーシャルディスタンスは3フィート以上と指導されています。ブーンカウティスクール学区は、ソーシャルディスタンスに関する全ての州及び地区の保健当局からの指導に可能な限り従います。

検査

新型コロナウイルスの自主検査を各学校で生徒とスタッフに提供する予定です。

隔離

生徒、教師、またはスタッフが、以下を含む新型コロナウイルスの症状又は発熱を患っている場合は、必ず自宅待機するようにして下さい。

- 発熱
- 新たな咳
- 呼吸困難
- のどの痛み
- 筋肉または関節の痛み
- 嘔吐または下痢
- 新たな味覚又は臭覚の喪失

新型コロナウイルスの検査で陽性となった人は、症状が出始めてからの10日間登校せずに必ず自己隔離して下さい。新型コロナウイルスの検査を受けていないが症状のある生徒、教師、またはスタッフは、症状が解消したときに戻ってくるのが可能となります。

隔離と濃厚者追跡

濃厚接触者とは、マスク着用していたかどうかに関係なく、1日の間に累積して15分以上陽性患者と3フィート以内の距離内にいた人のことです。

- **例外：**幼稚園から高校までの屋内教室の設定では、幼稚園から高校までの予防方策が実施されている場合の濃厚接触の定義では、感染した生徒から3フィート以上離れている生徒は除外されます。この例外は、屋内の教室環境にいる教師、スタッフ、またはその他の大人には適用されません。
- 濃厚接触があったと特定されたワクチン未接種の生徒、教師、またはスタッフは、自己隔離する必要があります。隔離が終了する可能性は、以下の項目が満たされたときであり、陽性患者との継続的な接触がその間なかった事が前提となります。
 - 5日目またはそれ以降に新型コロナウイルス検査を受け（無症状の場合）、検査結果が陰性の場合、8日目に通常の活動に戻ることが可能となります。
 - 10日間自己隔離し、無症候性の場合は11日目に通常の活動に戻ることが可能となります。
- ワクチン接種が完了した生徒、教師、またはスタッフは、新型コロナウイルス陽性患者との接触後、無症状の場合は自己隔離する必要はありませんが、接触後3～5日後に検査を受けることを推奨します。
- 702KAR 1:191Eは、有資格従業員に対して、特定の条件に見合った場合での新型コロナウイルスの有給隔離休暇を許可します。従業員が医療専門家、公衆衛生部門、または公衆保健局によって自己隔離を要求された場合、学校に所属する従業員はその学校の看護師に通知し、それ以外の従業員は保険サービス部署ディレクターの

Jennifer Yargerに通知します。その後人事担当者は、隔離された個人に連絡後、隔離休暇のステータスを確認します。KARによると、ワクチン接種済みまたは未接種の従業員が新型コロナウイルス感染症冠者である場合、有給隔離休暇は利用できません。この際従業員は、新型コロナウイルス感染期間中の欠勤を補うために、病欠休暇または有給休暇を使用することが可能になります。

マスクの着用と手洗い

ケンタッキー州教育省が発行した702KAR1:195E(ケンタッキー州行政規則)で義務付けられたとおり、**新型コロナウイルスのワクチン接種状況に関係なく、他の理由で免除されないかぎり、すべての人は屋内でどのような設定であっても、マスクを着用する必要があります。**

ケンタッキー州教育省の指導及びその他の適用法令に従い、ブーンカウンティスクール学区では、生徒またはスタッフが校舎内でマスクを着用しない場合、医師が著名した医療免除を提出する必要があります。

生徒がマスクまたはフェイスマスクを着用する事に健康上の懸念がある場合、保護者の方は、かかりつけ医に連絡し、以下の内容を含む医療免除書類をレターヘッドに書いてもらうよう依頼して下さい。

- 生徒の名前
- 生年月日
- 学校でマスクまたはフェイスマスクを着用しない医療上の理由
- マスクまたはフェイスマスクを着用した場合に発生する健康上への影響
- マスクまたはフェイスマスクを着用しない際の道理にかなった提案
- 医師の著名、執筆した医師の名前および日付

手洗いは、石鹸を使用して20秒以上洗浄するか、60%以上の消毒用アルコールを含む手指消毒剤を使用することを勧めます。

交通

- 保護者は毎朝生徒の体温を測定する必要があります。熱がある生徒は自宅に待機します。
- CDC、KDE、およびKDPHの指示により、生徒はバスに乗車している間は常にマスクを着用する必要があります。又ワクチン接種を受けているか否かに関わらず、全ての生徒および大人はスクールバスに乗車する際にマスクを着用する必要があります ([バイデン大統領の大統領命令](#)と[CDCの公衆衛生命令](#)に従う。)
- 可能であれば、(窓を開けて)バス機内の換気を良くします。
- ハンドサニタイザーを全てのバスに常備し、バス乗車時に使用可能にします。

- 全てのバスに指定席を設けます。
- 生徒をバスの前部から後部の順にバスから降ろします。
- バス内装の安全衛生プロトコルの追加措置を毎日及び毎週行います。

校舎内の清掃、殺菌、消毒

- 複数の手指消毒ステーションとディスペンサーを全ての学校の校舎内に設置します。（手洗いは依然として推奨される最善な洗浄方法です。）
- 校舎やディストリクトオフィス内のあらゆる側面の清掃は、終日および毎晩頻繁に行われます。
- 手すりやドアノブなどの頻繁に触れる面は、学校のある日は一日を通して頻繁に消毒されます。
- トイレ、共用エリア、水飲み場などの交通量の多いエリアは、学校のある日は一日を通して頻繁に消毒されます。
- 毎日の教室内の安全衛生ニーズに対応するため、サニタイザー、除菌スプレー、除菌ウェットシートが提供されます。
- 学校や建物の換気システムは、すべての業界標準を満たしています。私たちは可能な限り屋外スペースを利用します。

給食

全日対面指導

週5日

給食

- 朝食と昼食の給食は、2021～2022 学年度の間、全ての学校に在学する全ての生徒に無料で提供されます。
- 無料/減額給食は引き続き申し込みが必要となります。[無料および減額の申し込みリンク](#)から手続きを完了することができます。
- アラカルト価格 [食品価格表 \(2021-2022 学年度\)](#) リンク

ご質問やご不明な点がございましたら、フードサービス(859-282-2367)にお問い合わせください。

出席状況／授業への参加

新しく始まる2021～2022学年度の始業日が近づく中、このようにブーンカウンティスクール学区に在籍するすべての生徒たちが、8月18日の始業日から対面指導を受講することをお知らせできることを嬉しく思います。これは、ケンタッキー州のすべての公立学校は、生徒が登校する事が毎日の生徒の出席記録とされる教育環境に戻るとい

う近日ケンタッキー州教育省から出された指示と併せて実現されます。今学年度に月曜日から金曜日まで生徒たちと教室内で学習できることを楽しみにしています。

指導形態と学習手段

K-12年生の生徒は、週5日対面指導を受けるために通学します。プリスクールの生徒は、月曜日から木曜日までの通常4日間のスケジュールに従って、対面指導を受けるために通学します。

K-12年生の生徒が、身体的または精神的な疾患または障害のために学校に通えず、家庭/病院学習の基準を満たしている場合、その生徒は学区の家庭/病院教育プログラムを通じて教育サービスを受けることができます。指導セッションは、対面または電子的に提供される場合があります。家庭/病院教育プログラムのオプションに興味のある方は、生徒人事課のアシスタントディレクター Mike Raleigh (859-283-3217) までご連絡下さい。

また今年度からブーンカウンティスクールは、Accel Academy（アクセルアカデミー）を通じて6年生から12年生の生徒にバーチャル学習モデルのオプションを提供できることとなりました。受け入れが許可された場合、生徒はAccel Academyに一次登録され、在籍する地区の学校への登録は抹消されます。このオプションの詳細については、保護者の方から在籍する学校のカウンセラー又は学校管理者に問い合わせ頂るか、スクールチョイス・トランジションプログラムコーディネーターのTracy Shaefer tracy.schaefer@boone.kyschools.us (859-283-3232) までお問合せください。

隔離された生徒は、学校のオンラインプラットフォーム（Canvas、Google Classroom）を介して指導を受けます。これには、同期学習と非同期学習の組み合わせ、およびクラス毎の課題が含まれる場合があります。また各学校にて、隔離を終了した生徒がクラス内で他の生徒と同等に学習を再開する際の独自の具体的な計画を準備しています。

この学校再開計画は随時更新文書であり、学年度を通じて変更される可能性があります。私たちは地区、州、または連邦政府機関から提供される新しい情報を元にこの手引書を更新していきます。

免責条項： この文書は、ブーンカウンティスクール学区のバイリンガルスタッフメンバーによって翻訳されたものであり、誠意を持って取り組んだものです。